

平成24年度臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：矯正科
研究期間：2010年4月～2015年3月（継続中）
研究課題名：骨格性下顎前突および口唇口蓋裂を有する成人における軟組織形態の三次元的評価
研究課題の概要及び成果： <p>本研究の目的は、骨格性下顎前突および口唇口蓋裂を呈する成人において、安静時および表情表出時の顔軟組織表面形状を三次元的に記録し、軟組織の形態的特徴について、正常咬合を呈する成人との差異を明らかにすることである。</p> <p>これまでの解析により、安静時及び表情表出時における疾患固有の形態的な顔の歪みを有する症例が存在し、安静時及び表情表出時の三次元顔計測がこの歪みの検出に有効であることが示唆された。</p> <p>成果：</p> <p>上記に対して、以下発表を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 新宅優子、谷川千尋、高田健治：上顎骨側方拡大および下顎枝矢状分割骨切り術を施行した片側性唇顎口蓋裂患者の一治験例。第54回近畿東海矯正歯科学会学術大会，平成24年6月17日。大阪</li><li>2. 新宅優子，谷川千尋，高田健治：外科的矯正治療を施行した骨格性反対咬合を伴う片側性唇顎口蓋裂の二症例－三次元顔画像評価を加えて。大阪大学歯学会 114 回例会。平成24年7月5日。大阪</li></ol>
上記概要・成果に関連する図表等